

概要版【社会科】

小学校社会科において、根拠を基にして自分の考えを表現できる児童の育成
-児童の思考をつなぐ教師の支援と思考ツールを活用した話合いの工夫を通して-

研究のねらい

令和2年度 前橋特別研修研究員
前橋市立大利根小学校 春山 萌

根拠を基にして自分の考えを表現できる児童の育成をするために、小学校社会科における「児童の思考をつなぐ教師の支援」と「思考ツールを活用した話合いの工夫」を取り入れたことが有効であることを、実践を通して明らかにする。

【児童の実態】

資料から読み取った事実から根拠を見だし自分の考えをもったり、話合い活動で自他の考えの共通点を生かして自分の考えを再構築したりすることを苦手としている児童が多い。

【指導上の課題】

資料から読み取った事実を整理し、その事実を根拠として自分の考えを表現する活動場面の設定が少なかった。

実践内容

【教科・領域】社会 第6学年 明治の国づくりを進めた人々

<授業の流れ>

課題をつかむ

課題について予想をする

①自力解決をする
(3つの資料から1つを選び、
個人で解決に必要な情報を
集める)

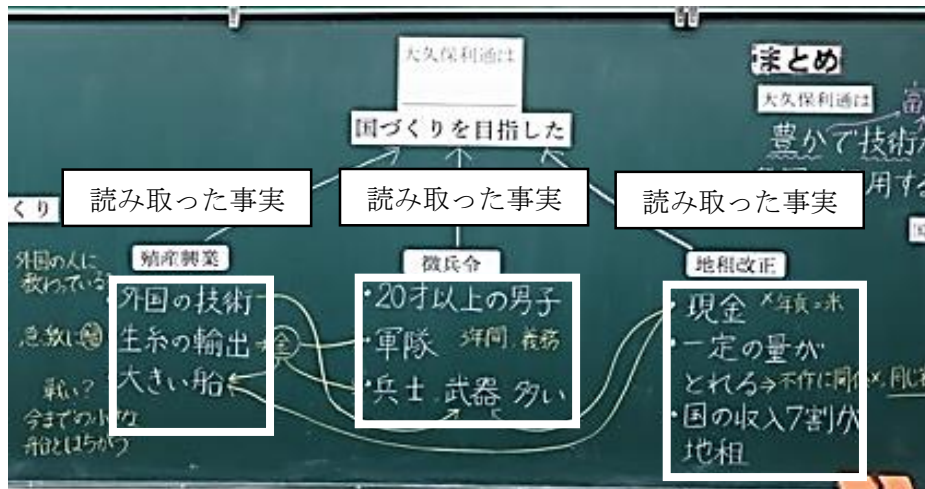
②学級全体で情報を整理する
【手立て1】

③課題に対する自分の考えを
もつ

④課題に対してグループで話し
合い自分の考えを再構築する
【手立て2】

本時のまとめをし、一人一人が
学習の振り返りをする

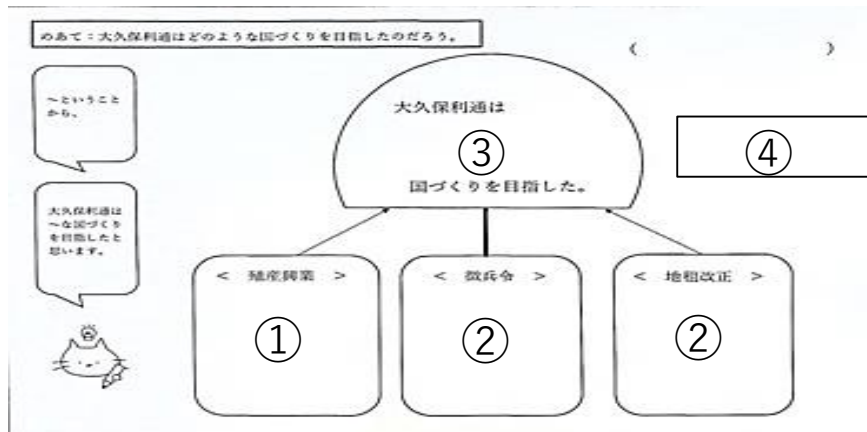
【手立て1】児童の思考をつなぐ教師の支援



教師の支援

- (1) 読み取った事実同士を関連付けるための意図的な問い返し
- (2) 読み取った事実同士を関連付けるための意図的な板書

【手立て2】思考ツールを活用した話合いの工夫



- (1) クラゲチャートの活用
上記①～④は児童がクラゲチャートを使用した学習の流れ
- (2) 自他の考えの根拠の共通点を生かした話合い

【手立て1】児童の思考をつなぐ教師の支援

児童がいくつかの事実を関連付けて捉えられるように、資料から読み取った事実同士の関連性を児童の発言から引き出し、板書することで可視化した。

- 児童に意図的な問い返しをする。
- 意図的な板書をする。
 - ・出てきた考えを色チョークで書き足す。
 - ・板書された事実同士を線で結ぶ。

地租改正で、安定して**お金**を手に入れられる、という意見が出てきたけれど、手に入れたお金は一体何に使ったのかな。
意図的な問い返し

殖産興業で出てきた、**大きな船**を造るのに使ったんじゃないかな。(地租改正と殖産興業を結びつけて考えている。)

事実同士の関連性を可視化することで、改革同士のつながりに気づき、関連付けて考えをもつことができる。

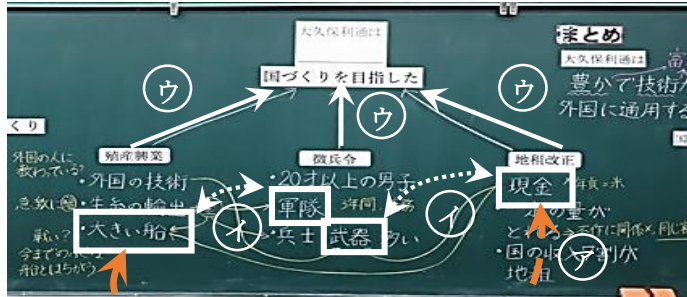
地租改正の**現金**と、殖産興業の**大きな船**は関係があるということかな。〔矢印⑦〕 **意図的な板書**

お金がないと武器を買ったり作ったりできないから、殖産興業と地租改正で手に入れた**お金**で、**軍隊**や**武器**を作ったのかな。(殖産興業と地租改正、徴兵令を結びつけて考えている。)

地租改正の現金と徴兵令の武器、殖産興業の輸出で得たお金と軍隊は互いに関係があるということかな。〔矢印④〕 **意図的な板書**

3つの改革は互いにつながっているぞ！
どれも必要そうだ！

それってこういうことかな。(3つの改革から大久保の目指した国づくりに矢印を向ける。⑨) **意図的な板書**



【手立て2】思考ツールを活用した話合いの工夫

根拠を基に自分の考えを表現するために、様々な事実から根拠を見だし、自分の考えを表現できるクラゲチャートを用い、自他の考えの根拠の共通点を見出す話合いを行った。

思考ツール：クラゲチャートの活用

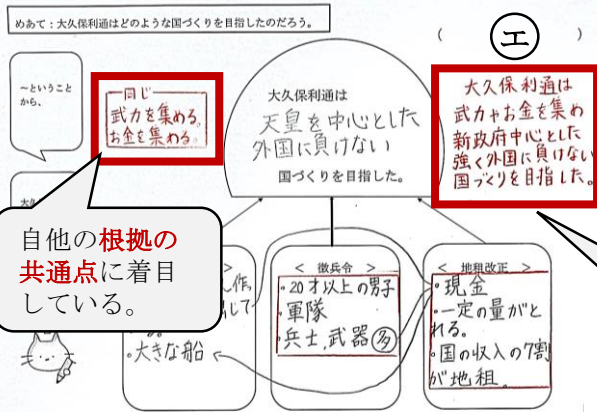
- ①様々な事実から根拠を見だし自分の考えがもてる。【自力解決の場面】
- ②根拠を相手に明らかにしながら自分の考えを伝えることができる。【話合いの場面】
- ③自他の根拠の共通点を見だし、自分の考えを再構築することができる。【話合いの場面】

話合いの工夫

改革同士の関連や根拠のつながりに気付くことができるようにするため、根拠を明らかにしながら自分の考えを説明し、自他の根拠の共通点について話し合う。

徴兵令で武器や軍隊をつくったということから、外国に負けない**強い**国づくりを目指したと思います。

殖産興業で生糸をたくさん輸出したり、大きな船を造っていることが分かったから、お金をたくさん持っている**豊かな**国を目指したと思います。



全員、「武器・軍隊」「現金」「船」を使って考えているな。「**武力**」と「**お金**」がキーワードになりそうだ。**(共通点に着目している。)**
確かにお金がないと武器を揃えたりできないな。お金も必要そうだ！自分の考えに「**お金**」を入れてもう一度書き直してみよう。〔⑩〕

他の児童の考えを取り入れて、**赤**で追加して書いている。

他者の考えを生かして 自分の考えを深めることができた。

成果

- ◎全体指導で児童に問い返しながらか改革同士のつながりを板書を通して視覚的に捉えられるようにしたことで、大久保らが行った改革同士を関連付けて捉えることができるようになった。
- ◎話合いの場面で、思考ツールを使い、根拠となる事実の共通点に着目させながら交流を行った結果、友達の意見を生かして自分の考えを深めることができた。

課題

- ◇板書で児童の思考をつなぐ際、教師と児童間のみの交流だけではなく、児童同士の交流を通して社会的事象の関連性を捉えさせたい。
- ◇話合いの際、共通点に着目させ話し合ったが、さらに多様な意見交換を行えるようにするために相違点についても着目させて交流させていくことも必要であると考えます。